

# 平成25年京都大学地球物理学教室同窓会（京大知球会） 報告

2013年（平成 25 年） 3 月 16 日（土）  
京大理学部 6 号館 4階 401 号室  
[参加者数： 講演会；45名、総会；40名、懇親会；33名]

## [プログラム]

13：00 開会の挨拶 荒木 徹 （会長）  
13：05 地球物理学教室と大学の近況 余田 成男 （教室主任）

**講演会** 13:30 -16:00 司会：福田 洋一

### 【退職記念講演】

13:30-14:10 最近の地震災害に関係した観測調査研究について  
松波 孝治（防災研究所地震災害研究部門）

### 【特別講演】

14:10-14:40 博士号を取得した後に転身するという事 -特許業界へ転身した事例-  
竹内 智彦（工藤国際特許事務所）

14:50-15:20 JAXA（宇宙航空研究開発機構）での仕事 -技術系職員5年間の経験-  
村上 尚美（JAXA研究開発本部 誘導・制御グループ）

### 【新任教授講演】

15:20-16:00 大地震の断層破壊は地殻深部のどこまで伝播するのか？  
林 愛明（固体地球物理学講座活構造学研究室）

**総会** 16:10 - 17:10 司会：諏訪 浩

### 報告

今期の活動と今後	荒木 徹
総務・名簿	諏訪 浩
会計	福田 洋一
会計監査	田中 良和
歴史記録	竹本 修三
その他	

### 議事

次期会長の選出  
その他

**懇親会** 17:30 - 19:30 京大理学部 1 号館 5階 563 号室 司会：諏訪 浩

---

## [議事・報告の要旨]

### [開会の挨拶]

荒木 徹

年度末のお忙しい時期に、この同窓会にご参加頂き、有り難うございました。

この後、例年通り、教室主任の余田先生に大学と教室の近況をお話し頂き、続いて松波先生に退職記念講演をして頂きます。その後は、今までと少し趣向を変えて、就職して10年以内の若い会員お二人にお話いただきます。これは、同窓会ネットワークを通じて、学生・院生へキャリアパスに役立つ情報を提供できればと考えてのことでした。事前に、これについて宣伝をして頂いたのですが、今のところ若い方の出席が少ないようです。もう少し時間がありますので、参加者が多くなることを期待します。

若いお二人の後、昨年10月に着任された林愛明先生が、今、特に話題になっている断層についてお話しください。

講演時間に限りがありますので、懇親会に出来るだけ多く参加して頂いて、議論を続けて頂ければと思います。

### [地球物理学教室と大学の近況]

余田 成男

[PDFファイル](#)

### [総会報告]

#### 1. 今期の活動と今後

荒木 徹

今期の最後の総会ですので、下記に、2年間の出来事を纏めておきます。

- (1) 昨年度総会で、同窓会別名・愛称を「京大知球会」と決定した。
- (2) 規約に幹事の選出方法が規定されていなかったので、第9条(役員の選任)に、「幹事は、会長が選任し、役員会の承認を受けるものとする。」を付加した。  
“前会長を役員にする”ことは、規約には入れず、慣習として扱う事にした。
- (3) 竹本幹事に歴史担当をお願いし、「京大地球物理の歴史を記録する会」を作った。歴史集第3部“京大地球物理学研究の百年(Ⅲ)”は、この会から発行された。また、教室図書室に「歴史コーナー」を設け、教室関係者の図書を集める事にした。
- (4) ホームページの下記の項目を改訂・更新・追加した。
  - (a) 「京大知球会」決定に至る経緯、改訂規約
  - (b) 「京大地球物理の歴史を記録する会」発足の経緯、著書寄贈のお願い
  - (c) 紀要の電子化・公開に係る著作権の処理について
- (5) 関東(東京)支部準備会の幹事団(吉川、谷、徳田氏)を補強し、関東支部(仮称)結成を目指す事にした。出来れば、2013年度中に、支部同窓会を開きたい。
- (6) 毎年、京大ホームカミングデイに、役員・幹事会を開いている。常時出席者は、山元、田中(寅)、荒木、岩崎、諏訪、田中(良)、竹本、福田、町田、斉藤各氏である。
- (7) 今後の課題
  - (a) ホームページ・歴史記録の充実のため、会員からの投稿を歓迎したい。
  - (b) 現役・若手会員の同窓会活動への参加を期待したい。その為に、「職場情報の交換」、「先輩-後輩の繋がり・キャリアパス情報の提供」機能を強化したい。

情報交換の1例として、谷伸氏の発案で、昨年12月19日に、東京神田の居酒屋「土風呂」で、地球物理データ体制改善の意見交換会を開いたことを報告する。出席者は、谷海保庁海洋情報部長、佐々木気象庁地球環境・海洋部長、岸本産総研地質情報主任研究官、今村海洋研究開発機構特任参事（今脇JAMSTECデータセンター長代理）、渡邊堯（ICSU-World Data System International Program Office）、荒木徹（会長）であった。

地球物理データに関係のある職務に就いている会員がかなりおられるので、このような会合での議論の上に、それぞれの立場で意見を表明して頂ければ、遅れている日本のデータ体制の改善に役立つと思われる。

- (c) 新会長が選ばれてから、運営に慣れるまでに時間がかかる。同窓会創立後、5期目に入って、定常的な運営が可能になってきたが、会長が一期で交代しても運営に支障を来さないように工夫する必要がある。

## 2. 総務・名簿

諏訪 浩

昨年は、同窓会名簿を作成し、会場で配布したが、今年は作成しなかった。来年は作成・配布する予定である。従って、今回は、同窓会名簿データについて全面的な点検・整備作業は行わなかったが、同窓会メンバーの消息や異動に関するデータが寄せられるたびに原簿の加筆修正を行っている。

所属先や住所、メールのアドレスなどに関して、ご自身あるいはお知り合いの方の記載事項に変更が生じていることにお気づきの節は、諏訪（総務）までお知らせいただきたい。

また、講座や部門、センターで卒業生名簿を整えておられる場合には、メールアドレスを含めて、データを提供していただきたい。その場合、公開を控えたいデータがあれば、その旨お知らせいただきたい。隔年で印刷配布する名簿は、それらの指示に従った記載内容とする。なお、同窓会開催案内は、できるだけメールに依ることとしたい。郵便による開催案内通知の数を押さえて、支出を節減するためである。

## 3. 会計報告（次項の会計監査報告があり、拍手により承認）

福田 洋一

収入の部：	
2011年より繰越：	385,599
同窓会入会金（@3000x3）：	9,000
寄付金：	2,000
懇親会費（@5000x42）：	210,000
口座利子	108
小計	606,707
支出の部：	
同窓会案内郵送料（@80x248）	19,840
懇親会飲食費：	175,920
同窓会準備アルバイト（@5000x4）	20,000
記念品代	20,445
口座税金	19
小計	236,224
次年度繰越	370,483

#### 4. 会計監査 (この監査報告ののち、拍手により会計報告承認) 田中 良和

平成25年3月4日12時30分から約15分間、会計の福田先生のお部屋にて京都大学地球物理学教室同窓会の会計監査を行いました。会計書類等はよく整理されており、会計からのご報告の通りであることを確認致しました事をご報告申し上げます。

#### 5. 歴史記録 竹本 修三

##### ① 『京大地球物理学研究の百年』の WEB 上での公開について

京都大学附属図書館の所蔵図書を電子化して WEB 上で公開する京都大学学術情報リポジトリという制度が発足しました。

『京大地球物理学研究の百年』第1巻～第3巻につきましても著者の了解を得たうえで、公開可の部分を KURENAI に登録しました。

下記から閲覧できます。

■第1巻 <http://hdl.handle.net/2433/169797>

■第2巻 <http://hdl.handle.net/2433/169872>

■第3巻 <http://hdl.handle.net/2433/169915>

##### ② 図書室【歴史コーナー】への著書寄贈のお願い

地球惑星科学図書室の【歴史コーナー】では、卒業生や教員の方の著書寄贈を、引き続き受け付けています。皆さまのご協力をお願いいたします。

##### ③ 歴史記録の論文

教室の歴史記録に関して、下記の興味深い論文が出版された。

山田俊弘(2013)：地球物理学制度化への挑戦 ―志田順と京都帝大地球物理学科 1909年-1936年―，科学教育研究, 37 (1), 15-29

### [総会議事]

#### 1. 次期会長の選出

福田会員から、次期会長に現会長を推薦したいとの提案があり、これに対して荒木現会長から下記の説明があった後、提案が認められた。

「山元初代会長、田中寅夫2代目会長は、それぞれ二期ずつ会長を務められたが、これは同窓会の立ち上げのために必要なことであった。設立後9年目で定常的運営が出来るようになった今期は、会長が一期で交代して新しい視点を入れていくことが会の活性化に繋がると考えていたので、私は、当初から一期に限って会長を引き受けるつもりであった。それで、昨年8月に、経験・見識共に優れた方をお願いして、次期会長就任の内諾を得た。ところが、12月になって事情が変わり、他の方を探さざるを得ない事になった。役員・幹事の方々と相談した結果、会長人事を最初からやり直すのは無理であり、現会長の留任が望ましいとの意見が出され、最終的には、私もやむを得ないと判断した。ただし、現役員・幹事も留任して下さることを前提としたい」

#### 2. その他 特に無し